

地域の農業を活かした 未来づくりセミナー



帝京大学

2019年度
帝京大学霞ヶ関キャンパス
公開セミナー

日本は急激な農業人口の減少で、農地の大供給時代を迎えています。あるシミュレーションでは、2030年に担い手農家の平均経営面積は100ha前後に達すると予想され、農地の集約化や効率的な活用が喫緊の課題となっています。本セミナーでは、加速度的に増える農地供給に農業界や自治体はどう対応していくか、議論を深めます。

開催概要

日 時：2019年 **10月1日**（火）

13:30～18:00（開場 13:00～）

会 場：帝京大学霞ヶ関キャンパス

（東京都千代田区平河町 2-16-1 平河町森タワー 9階）

主 催：帝京大学冲永総合研究所

後 援：総務省、全国知事会、全国都道府県議会議長会、全国市長会、
全国市議会議長会、全国町村会、全国町村議会議長会

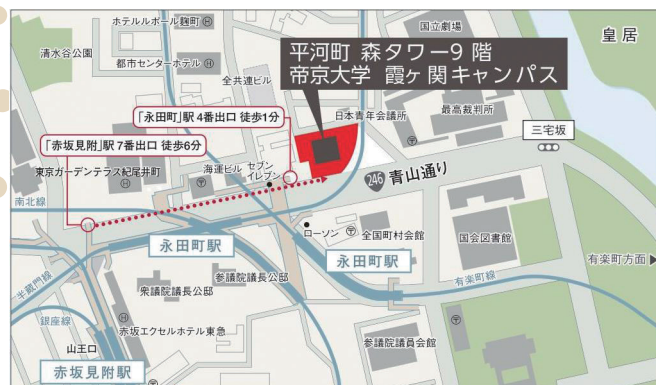
対 象：自治体・団体職員、関連事業者等、どなたでもご参加いただけます

参加費：無料

募集人数：100名

申込方法：

FAX申込（裏面）または、
帝京大学冲永総合研究所HP
から申込フォームをご送信
ください



地下鉄有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」4番出口より 徒歩約1分
地下鉄銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」7番出口より 徒歩約6分

プログラム

13:30～13:40 **ご挨拶** 帝京大学学長・理事長／冲永総合研究所所長 冲永佳史

13:40～14:30 **基調報告 「今後10年を見通した我が国の食と農」**
大泉一貫氏（宮城大学名誉教授）

パネルディスカッション 「農地の流動化をどう乗り越えるか」

14:40～15:30 〈話題提供〉

①「担い手への農地の集積・集約化の推進について」

倉重泰彦氏（農林水産省大臣官房審議官（兼経営局））

②「ワールドファームにおける農地集約・集積の実態」

幕内進氏（ワールドファーム会長）

③「農地集約と大規模稲作経営」

染谷茂氏（柏染谷農場社長）

15:40～16:30 〈質疑応答〉

パネリスト 大泉氏、倉重氏、幕内氏、染谷氏

モデレーター 金子弘道氏（帝京大学経済学部地域経済学科客員教授）

16:40～18:00 **交流会**（軽食あり、無料）



送信日 2019年 月 日

FAX送信方向

参加申込書

下記の表に記入の上、本用紙をFAXにて送信してください。

お名前	ふりがな 様
ご所属	
ご住所	〒
電話/FAX	電話： FAX：
メール アドレス	
交流会（軽食あり、無料） ☐ 参加 ☐ 不参加	
今回、このセミナーをどちらでお知りになりましたか	
次回のセミナーのご案内をお送りしてもよろしいですか ☐ 希望する ☐ 希望しない	

FAX番号

03-3556-7125

◀ お問い合わせ先 ▶

帝京大学冲永総合研究所 プラクティカルラボ霞ヶ関
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-16-1 平河町森タワー 9 階
TEL：03-5213-4503

個人情報の
取扱について

お寄せいただいた個人情報は本学の個人情報保護方針に則り、厳重に管理し帝京大学の公開講座の運営並びに次年度以降の講座のご案内を行う目的以外には利用することはありません。